



## ALSO プロバイダーコース

### ～東北大学病院～

**Advanced Life Support in Obstetrics(ALSO)**とは、医師やその他の医療プロバイダーが、周産期救急に効果的に対処できる知識や能力を身につけ、伸ばすための教育コースです。また産婦人科医のみならずプライマリケア医が分娩を扱えるようになることを意図した訓練でもあります。1991年にACLSとATLSを参考にして、ウィスコンシン州の一般診療医師二人がALSOを考案しました。1993年にコース権利はAmerican Academy of Family Physicians (AAFP－米国家家庭医学会)によって認可され、現在、全米ではほとんどの分娩施設において、分娩に関わる医療プロバイダーがALSOを受講することが義務づけられています。また米国の家庭医レジデンシープログラムのうち、78%がALSOをプログラムに導入しています。さらにALSOコースは世界的にも普及活動が行われており、2009年現在までに50カ国以上でプロバイダーコースが開催され、10万人以上がALSOコースを完了しました。

コースの教材は、シラバス(教科書)、レクチャー、実地訓練のためのマネキンを使用したワークショップです。筆記試験とマネキンによる実技試験(メガデリバリー)がコースの終わりにあります。ALSOは分娩室における産科の救急的対処を強調していますが、その他に出産前のリスク評価、妊娠初期の性器出血、患者－医師関係、出産危機における両親のサポート、そして医療過誤リスクの減少といったテーマも含まれています。

プロバイダーコースは二日間にわたって行われます。妊娠初期の合併症、難産、妊娠の内科的合併症、妊娠後期の性器出血、早産と前期破水、妊婦の蘇生法、そして出産危機における両親への対処の8つのレクチャーがあります。少人数グループによるワークショップは、肩甲難産、経膈補助分娩(吸引分娩)、鉗子分娩、産後大出血、会陰縫合、分娩中の胎児監視、症例検討の7つです。**プロバイダーコースを受講し試験に合格した場合は、参加者は5年間有効の認証を受けることができます。**プロバイダーコースのインストラクターになることを希望する場合、さらに一日間のインストラクターコースを受講しなければなりません。

日本では2008年11月に金沢で日本初のプロバイダーコースが開催されて以来、約

100名が ALSO コースを修了しました。これまでの受講者は産婦人科医、プライマリケア医、研修医、救急医、助産師、そして医学部生などであり、現在あるいは近い将来の日本の周産期医療体制において、分娩や産科救急に関わる可能性のあるすべての医療人が参加しています。

産科救急医療は、産婦人科医だけではすでに成り立たない状況になりつつあることは周知の事実です。日本全国のすべての地域でできるかぎり同じレベルの産科医療を維持するには、産科医療に関わりたいという志を持った人たちをトレーニングする場を多く提供し、最低限必要な医療チーム体制をあらゆる医療圏に確保する必要があります。まさにその足がかりとなるトレーニングコースが ALSO であり、今後日本で普及していくことを願ってやみません。

*ALSO-Japan*

セミナー：ALSO プロバイダーコース

主催：東北大学「周産期医療若手・女性医師支援プロジェクト」

共催：NPO 法人周産期医療支援機構（OPPIC）

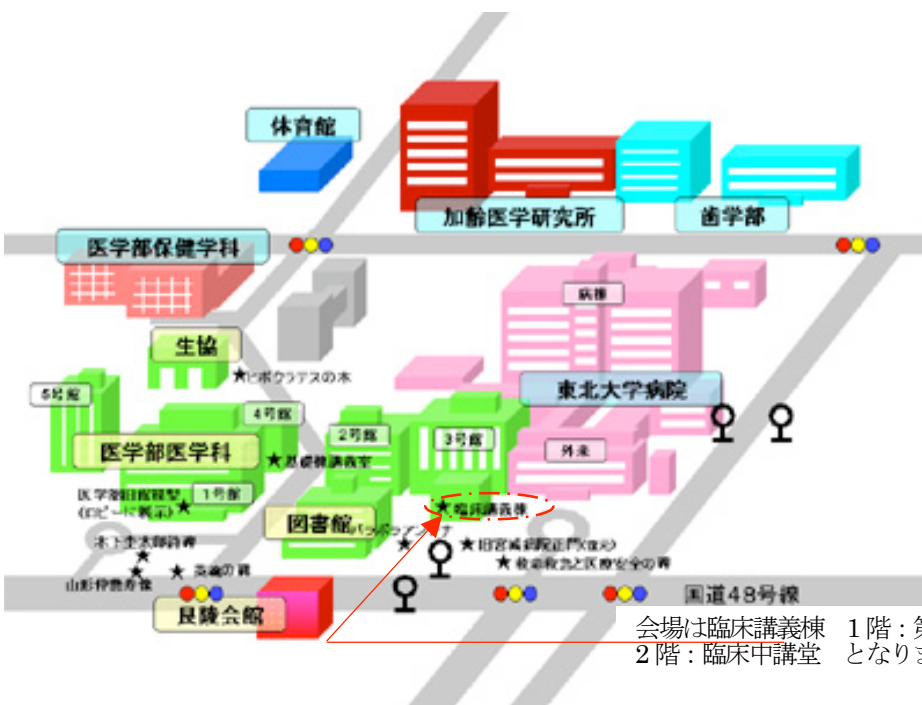
開催場所：東北大学病院臨床講義棟

日時：平成 22 年 10 月 9 日（土）、10 日（日）

# ALSO プロバイダーコース会場案内図

下記地図を参考にいただき、東北大学病院臨床講義棟までお越しください。

**開催場所：** 東北大学病院臨床講義棟 **第1・第2ゼミナール室, 臨床中講堂**  
**日時：** 2010年10月9日(土), 10日(日) (初日受付: 8:30-9:00)  
**問い合わせ先：** 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1 東北大学病院 産婦人科(室月淳)  
(医局) 022-717-7251 (携帯) 090-4045-5708



**ALSO-JAPAN 2010 in Sendai COURSE SCHEDULE**

10月9日(土)	10月10日(日)
8:30 AM – 9:00 AM 受付	8:30 AM – 9:00 AM A: First Trimester Complications 妊娠初期の合併症
9:00 AM – 9:30 AM F: Labor Dystocia 難産	9:00 AM – 9:30 AM C: Vaginal Bleeding in Late Pregnancy 妊娠後期の性器出血
9:40 AM – 11:00 AM H: Assisted Vaginal Delivery 補助経膣分娩(吸引分娩) I: Shoulder Dystocia 肩甲難産 / Malpresentations 胎位・胎向異常	9:40 AM – 11:00 AM K: Maternal Resuscitation 妊婦の蘇生 N: perineal repair 会陰縫合
11:10 AM – 12:30 AM H: Assisted Vaginal Delivery 補助経膣分娩(吸引分娩) I: Shoulder Dystocia 肩甲難産 / Malpresentations 胎位・胎向異常	11:10 AM – 12:30 AM K: Maternal Resuscitation 妊婦の蘇生 N: perineal repair 会陰縫合
12:30 PM – 1:30 PM Lunch L: 出産危機における両親への対処	12:30 PM – 1:30 PM Lunch D: Preterm Labor & PROM 早産と前期破水
1:30 PM – 2:40 PM E: Intrapartum Fetal Surveillance 分娩時胎児監視と症例	1:30 PM – 2:30 PM OB Cases & B: Medical Complications 内科的合併症と症例
2:50 PM – 4:20 PM H: Forceps Vaginal Delivery 鉗子分娩 J: Post Partum Hemorrhage 産後大出血	2:30 PM – 3:00 PM Rest 3:00PM – 5:30PM
4:30 PM – 6:00 PM H: Forceps Vaginal Delivery 鉗子分娩 J: Post Partum Hemorrhage 産後大出血	Megadelivery & Written Examination